

令和4年度 さいたま市立七里小学校 学校運営協議会による評価書

さいたま市立七里小学校
学校運営協議会
会長氏名 猪原 諭

学校運営協議会による評価（協議会の委員の意見等）

- 児童、保護者、教職員の学校アンケートの評価の差（ギャップ）を大切に捉え、改善の視点として受け止める必要がある。教職員間の情報共有を大切にしてほしい。
- 学校アンケートへの保護者の回答率の低さ（66%）が大変気がかりである。原因について検討し、来年度の実施に向けて策を設けるとよい。
- アンケートの回答については、経年で変化を確認できるとよい。
- 「あいさつ」は、家庭や大人があいさつの「意味」を教えたり、大人から笑顔でしたりすることを継続することが重要である。また、強化月間の設定やポイント制による「見える化」、七里小オリジナルのあいさつの考案など、子どもたちの意識を高めるための具体策を実施できるとよい。
- あいさつができた児童を褒めてあげることが大切であり、新たな会話につながる。
- キャッチフレーズをつくり、時間はかかるが地域を巻き込んで定着させるのはどうか。
- 大人（親）が、地域や外部の人との気持ちのよいあいさつや関わり方の手本を見せることが子どもに影響を与えることにつながる。
- 職員に「自己研鑽に励む」ことを奨励することは素晴らしいことである。
- 令和4年度学校経営基本方針（案）について
 - ・交通安全や廊下歩行の徹底をお願いしたい
 - ・正しい行進や走り方を子どもたちに教えてほしい。

学校運営協議会による評価を受けた学校の対応

- 日頃から、交通安全及び校内での廊下の歩き方の指導を徹底する。
- 学校運営協議会の熟議のテーマや内容を自治会等にも周知する。
- 地域と関わる行事の実施と教職員、児童、保護者が参加しやすい策を講じる。
【具体的な行事】
 - ・ゴミゼロ運動
 - ・レッツジョイン活動
 - ・おやじの会「クリーン活動」
 - ・避難所運営訓練
- 自治会の会合等への教職員の参加を推進する。
- 校務の見直しや優先順位を明確にすることで、削減できることを洗い出し、「働き方改革」を進める。

校長氏名 保坂 泰司

備考 A4用紙1枚程度に簡潔にまとめ、教育委員会に写しを提出してください。